

埼玉工大、深谷市コミュニティバスで、全線37kmの自動運転バスを実現 渋沢栄一翁ゆかりの地を周遊する、国内最長レベルの自動運転営業運行

埼玉工業大学

埼玉工業大学（本部：埼玉県深谷市、学長：内山俊一、URL <https://www.sit.ac.jp/>）と深谷観光バス株式会社（本社：埼玉県深谷市、代表：高田勇三、URL <https://www.fukayakanko.com/>）は、深谷市が令和 7 年 4 月より運行する深谷市コミュニティバス「くるリン」（以下、「くるリン」）において、新たに導入した自動運転バスが、路線全区間の合計 37 km での自動運転（レベル 2）運行を実現しました。

これは一般公道を営業運行する自動運転バスとしては、国内最長レベルの長距離となります。また、本自動運転バスは、将来的に「自動運転レベル 4」の実現を目指して開発を進めています。

深谷市は「くるリン」の運行再編にともない、「地域の足」としての利便性向上を図るとともに、渋沢栄一翁の生誕地周辺を周遊するコースを運行することで、新紙幣発行による深谷市を訪れる観光客へ対応しています。『北部シャトル便+周遊便』ルートには、自動運転バスの運行を 4 月 12 日（土）から開始し、県内初となる定時定路線における自動運転バスも運行しています。



自動運転バスは、JR 深谷駅北口を起終点とした全長約 37 km のコースで、当初実施日や走行区間を限定して運行を開始し、段階的に自動運転区間を増やして全線での自動運転走行を実現しました。

この車両は、埼玉工業大学が新たに構築した最新の自動運転バス（全長：9m）で、深谷自動運転実装コンソーシアムの協力により実現しています。

*Autoware は The Autoware Foundation の商標です。

本路線は深谷観光バス株式会社が運行を担当します。自動運転バスの運行スケジュールは、深谷市ホームページ等で公開されていますので、乗車の際は事前に必ずご確認をお願いします。

<https://sites.google.com/view/kururin-jidouunten>

なお、7/13(日)、7/26(土)、8/9(土)、8/23(土)は、本学のイベント開催のため、自動運転の運行予定はありません。また 7 月～9 月の間の週末は、大学のイベント等開催により、都合で自動運転の運行を実施しない可能性がありますので、ご了承ください。

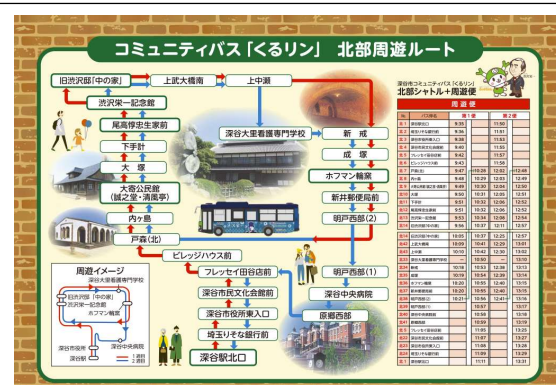
北部シャトル便+周遊便 運行コース

<https://www.citv.fukava.saitama.io/material/files/group/41/sv>

深谷市 HP



コミュニティバス
「くるリン」定時定路線



○「くるリン」北部便+（プラス）周遊便の自動運転運行スケジュールについて

<https://www.city.fukaya.saitama.jp/soshiki/toshiseibi/toshikeikaku/tanto/komyunitibasukururin/14397.html>

<https://sites.google.com/view/kururin-jidouuntten>

↑市ホームページへのリンク

コミュニティバス「くるリン」 位置情報（「BusGO！」外部サイト）

<http://fukaya.bus-go.com/>

「くるリン」の現在地を地図上で確認できます。

※上記スケジュールは車両の整備状況により予告なく変更となる場合もありますので予めご了承ください。

<自動運転バスの開発について>

埼玉工業大学が新たに開発した自動運転バスは、ISUZU エルガミオをベースにした「自動運転レベル 4」への対応を目指した先進的な車両です。全長：8.99m、幅：2.3m、高さ：3.46m、定員 61 人乗り、5.19L ディーゼル車で、「自動運転レベル 4」対応を目指したセンサーやカメラ等を装備し、自動運転システム用のオープンソフトウェア Autoware*を採用しています。埼玉工業大学は全国に先駆けて 2017 年より市内の公道での実証実験を開始し、その後、全国各地の公道での実証実験に参加してきました。本車両はその経験を活かして開発された「地産地消」の自動運転バスです。

■お問い合わせ先

埼玉工業大学 法人本部 広報担当：荒居・神山

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690

TEL 048-585-6805（直）、E-mail：arai-h@sit.ac.jp / E-mail：kamiyama@sit.ac.jp